

10 届出書・報告書（認可期間中の使用様式）

岩石採取休止・廃止届書

整理番号	
受理年月日	年 月 日

令和 年 月 日

兵庫県知事

様

住 所

氏名・名称及び法人にあ
っては、その代表者の氏名
登録年月日及び登録番号

印

採石法第 33 条の 10 の規定に基づき、次のとおり届け出ます。

- 1 採取計画の認可（変更の認可を含む。）を受けた年月日
- 2 当該岩石採取場における岩石の採取の休止・廃止の年月日（休止の場合にあ
っては、再開予定年月日）
- 3 当該岩石採取場の状況

- （備考）
- 1 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
 - 2 整理番号・受理年月日については記載しないこと。
 - 3 「休止・廃止」は、届出事由によりいずれか一方を消すこと。
 - 4 「当該岩石採取場の状況」については、採取跡の崩壊防止施設の設
置その他岩石の採取に伴う災害の防止を図るための措置の実施状況を含
めて記載すること。

氏名等変更届書

整理番号	
受理年月日	年 月 日

令和 年 月 日

兵庫県知事

様

住 所

氏名・名称及び法人にあ
っては、その代表者の氏名
登録年月日及び登録番号

印

採石法第33条の5第4項の規定に基づき、次のとおり届け出ます。

1 変更の内容

従 前 の 内 容	変 更 後 の 内 容

2 変更の理由

(様式第2号)

緑化状況報告書

令和 年 月 日

兵庫県知事 様

住 所 _____
氏名又は名称 _____

土石採取等遵守基準細則3(3)の規定に基づき、令和 年 月 日現在の緑化状況について、下記のとおり報告します。

記

1 恒久緑化

認可期間	採取年次		工種	面積 (単年)	面積 (累計)	恒久緑化 履行率 (Bの実績/計画)	左の外に恒久緑 化を行った面積
				A	B		
	1年次	計画					
		実績					
	2年次	計画					
		実績					
	3年次	計画					
		実績					
	4年次	計画					
		実績					
5年次	計画						
	実績						
6年次	計画						
	実績						
7年次	計画						
	実績						
	合計	計画					
		実績					

2 暫定緑化

今回認可期 間中に新た に生ずる壁 面面積 A	採取年次		遮断措置積 面 B	暫定緑化面積					合計 G(=B+F)	暫定緑化 履行率 H(=G/A)	左の外に 暫定緑化 を行った 壁面面積 I	
				表土 未除去 C	暫定緑化		恒久緑化					小計 F(=C+D+E)
					工種	面積 D	工種	面積 E				
	1年次	計画										
		実績										
	2年次	計画										
		実績										
	3年次	計画										
		実績										
	4年次	計画										
		実績										
5年次	計画											
	実績											
6年次	計画											
	実績											
7年次	計画											
	実績											
	合計	計画										
		実績										

注 添付書類：(1) 緑化実施箇所及び主要交通路からの可視区域を表示した平面図
 (2) 緑化実施箇所のカラー写真
 (3) 緑化実績面積の算出根拠資料(求積図等)

(様式第4号)

緑化完了報告書

令和 年 月 日

兵庫県知事 様

住 所

氏名又は名称

土石採取等遵守基準に基づく緑化事業が完了しましたので報告いたします。

緑化場所	
期 間	
完了年月日	
備 考	

注 添付書類：(1) 緑化状況を表示した現況平面図及び標準縦横断面図
(2) 緑化状況の分かるカラー写真

11 緑化計画書及び緑化状況報告書の記載要領

緑化計画書の記載要領について

緑化計画書（遵守基準細則様式第1号）は以下の要領で作成すること。

1 緑化計画書 7 (1) 関係

既造成植樹地欄及び計画造成植樹地欄の面積（5 (1)により算定すること）には暫定緑化の面積は含まないこと。

2 緑化計画書 7 (2) 関係

合計欄に記載する面積は、5 (1)により算定すること。また、最終残壁形成後速やかに恒久緑化に着手するよう緑化計画を策定すること。

3 緑化計画書 7 (3) 関係

① 今回認可期間中に新たに生ずる壁面の面積

今回認可期間中に採掘を予定している壁面（5 (2)により算定すること）について、重要な視点場からの可視、不可視に係わらずすべての壁面面積を記入すること（今回認可期間中に新たに表土除去を行う壁面だけではなく、既に表土除去済の壁面を含む）。なお、壁面面積は、最終残壁形成の有無にかかわらず、当該認可期間の最終形状で算定するものとする。

② 上記①のうち、遮断措置を講ずる壁面面積

遮断措置とは、採掘を行う壁面が採取場外（主要交通路）から見えないように、高木の植樹、フェンス設置等を行うことをいう。

③ 上記①のうち、暫定緑化を行う壁面面積

この暫定緑化面積には、表土未除去面積（表土除去を行う前の自然斜面）、暫定緑化面積及び恒久緑化面積の3項目を含むものとする。

④ ②+③

②と③の合計値を記入すること。

⑤ ④/①×100

④の①に占める割合を算定のうえ記入し、50%未満の場合は、別紙に理由を記載すること。この場合、遵守基準取扱要領 7 (1)のただし書に該当すること。

⑥ 上記の他に、暫定緑化を行う壁面面積

上記③以外に、自主的に暫定緑化を行う場合は、壁面面積を記入すること。

4 図面への表示について

(1) 緑化計画書 7 (3)に記載した暫定緑化箇所について、年次別緑化計画平面図に範囲及び面積を年次別に明示すること。

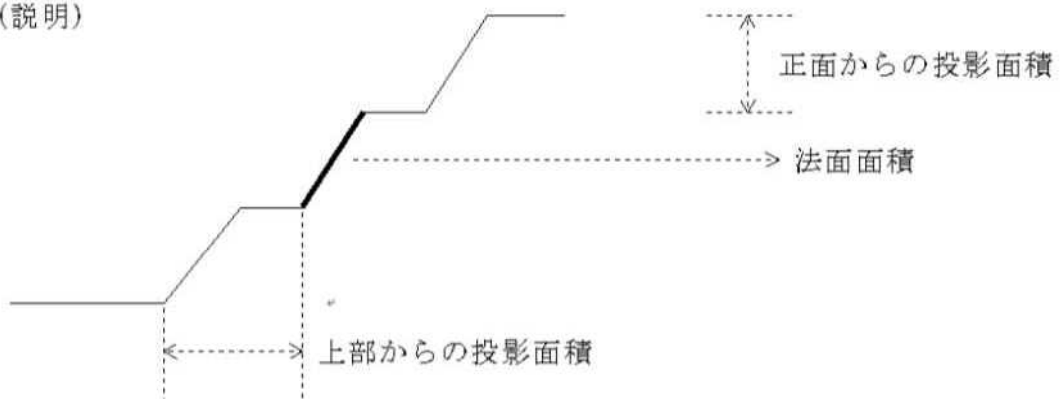
(2) 緑化計画書 7 (3)に記載した表土未除去面積に対応する表土除去箇所について、採取計画平面図に表土除去の範囲及び面積を年次別に明示すること。

5 面積の算定方法について

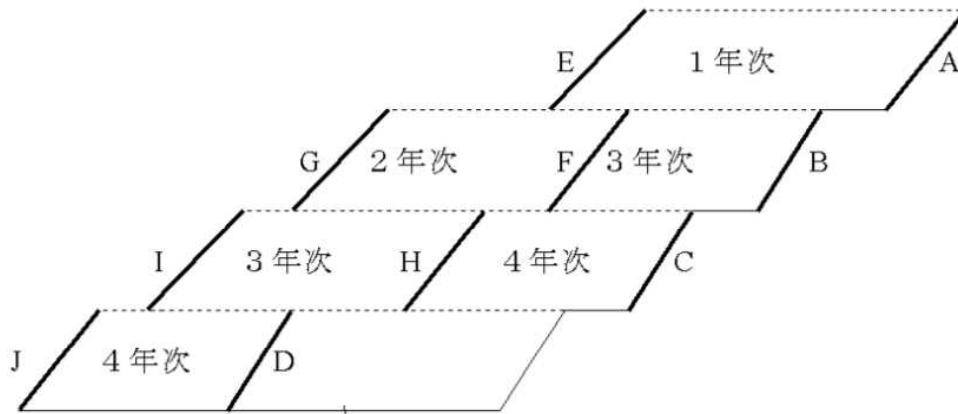
(1) 恒久緑化に係る面積は、上部からの投影面積とする（従来どおり）。

(2) 暫定緑化に係る壁面面積は、原則として「法面面積」とするが、面積の算定が困難な場合は、「正面からの投影面積」でも可とする。

(説明)



6 記載要領の具体例



(1) 具体例の前提条件

ア 認可期間は4年間

イ 表土除去

① 1年次採掘箇所の表土除去は前回認可期間中に終了している。

② 2年次以降の表土除去は各採掘年次に行う。

ウ 暫定緑化は、採取年次の翌年度に実施する。

エ 遮断措置は実施しない。

オ 恒久緑化

上記 A～C は最終残壁ではないため、今回認可期間中には実施しない。

(2) 記載方法

(3) 今回認可申請期間中の年次計画（暫定緑化に係るもの）

年次	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
① 今回認可期間中に新たに生ずる壁面面積	A+B+C+D			
② 上記①のうち遮断措置を講ずる壁面面積	なし	なし	なし	なし
③ 上記①のうち暫定緑化を行う壁面面積	G+I+J	A+I+J	A+J	A+B
i 表土未除去面積	G+I+J	I+J	J	なし
ii 暫定緑化面積	なし	A	A	A+B
iii 恒久緑化面積	なし	なし	なし	なし
④ ②+③	G+I+J	A+I+J	A+J	A+B
⑤ ④/①×100	75%	75%	50%	50%
⑤が50%未満となる理由	別紙に記載すること			
⑥ 上記の他に、暫定緑化を行う壁面面積	なし	なし	なし	なし

緑化状況報告書の記載要領について

1 提出時期

遵守基準細則により、認可年度（認可期間の初日から起算した1年ごとの期間）末の緑化状況を緑化状況報告書（遵守基準細則様式第2号）により、毎年、認可年度が満了する月の翌月末までに土木事務所等に報告すること（例：認可期間が令和○年7月7日から令和△年7月6日までの場合、毎年8月末までに、その年の7月6日現在の緑化状況を報告する。）。

2 記載要領

(1) 恒久緑化

ア 「工種」欄は、緑化工の種別（植栽、種子吹付け等）を記載すること。

イ 「面積（単年）」欄は、上段に緑化計画書7(2)の表中の面積を転記し、下段に1年次から現在までの各年次ごとに実施した恒久緑化箇所の上部からの投影面積を記載すること。

ウ 「面積（累計）」欄は、1年次から現在までの各年次の「面積（単年）」欄の値を積み上げて記載すること。

エ 「恒久緑化履行率」欄は、「面積（累計）」欄の実績値を計画値で除して得られた値を記載すること。

オ 「左の外に恒久緑化を行った面積」欄は、緑化計画書7(2)に計上した箇所以外を恒久緑化した場合に、その上部からの投影面積を記載すること。

(2) 暫定緑化

ア 「今回認可期間中に新たに生ずる壁面面積」欄は、緑化計画書7(3)の表の①欄の値を転記すること。

イ 「遮断措置面積」欄は、上段に緑化計画書7(3)の表の②欄の値を転記し、下段に1年次から現在までの各年次末における、アに対応する壁面のうち遮断措置により採取場外から展望できない箇所の法面面積又は正面からの投影面積を記載すること。

ウ 「表土未除去」欄は、上段に緑化計画書7(3)の表の③ i 欄の値を転記し、下段に1年次から現在までの各年次末における、アに対応する壁面のうち自然斜面が残存している箇所の法面面積又は正面からの投影面積を記載すること。

エ 暫定緑化及び恒久緑化の「工種欄」は、緑化工の種別（植栽、種子吹付け、グリーンネット等）を記載すること。

オ 暫定緑化の「面積」欄は、上段に緑化計画書7(3)の表の③ ii 欄の値を転記し、下段に1年次から現在までの各年次末における、アに対応する壁面のうち暫定緑化を施してある箇所の法面面積又は正面からの投影面積を記載すること。

カ 恒久緑化の「面積」欄は、上段に緑化計画書7(3)の表の③ iii 欄の値を転記し、下段に1年次から現在までの各年次末における、アに対応する壁面のうち恒久緑化を施してある箇所の法面面積又は正面からの投影面積を記載すること。

キ 「小計」欄は、「表土未除去」欄並びに暫定緑化及び恒久緑化の「面積」欄の値の和を記載すること。

ク 「合計」欄は、「遮断措置面積」欄及び「小計」欄の値の和を記載すること。

ケ 「暫定緑化履行率」欄は、「合計」欄の値を「今回認可期間中に新たに生ずる壁面面積」欄の値で除して得られた値を記載すること。

コ 「左の外に暫定緑化を行った壁面面積」欄は、上段に緑化計画書7(3)の表の⑥欄の値を転記し、下段に1年次から現在までの各年次末における、アに対応する壁面以外で恒久緑化及び暫定緑化を施してある箇所の法面面積又は正面からの投影面積を記載すること。